

県連ニュース

2018年 6月号 NO-491



滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄稿	リレーエッセイ	2
案内	第46回 清掃登山 (既報)	3
	京都府連 無雪期搬出訓練 (既報)	4
	教育部・遭対部共催 第1期地図読み教室	6
	教育部・遭対部共催 初心者岩登り教室	7
報告	雪山基礎講座2 (第5回)報告書	8
	ぐうたら理事長のつぶやき	12
	2018 国民平和大行進	14
	予 定 表	16

表紙の写真：『チングルマ』

背景は北ア・針の木岳 2017/08/10 撮影

滋賀山友会所属 北村 光雄さん提供

ーリレーエッセイー

四季の移ろいを求めて～～

三上山の麓に住んで41年。
娘が小学1年生。息子は3才のヤンチャ盛りの昭和51年12月。
大阪からの転勤で、八日市に3年暮らして我が家を野洲に建てた。
あれから40年！ どっぴり野洲人になっている私。

少しの時間を見つけては三上山に登ったり～
季節の移ろいを求めて、
希望ヶ丘へ、hope60で走る
還暦の時に私に夢と希望をくれた真っ赤なマウンテンバイク



風をきり 緑の中へ・・・希望ヶ丘に続く路・・・大好きな森の路
♪さくら ♪つつじ ♪もみじ
希望の色に満ちた森・・・風の匂いのする森・・・心が和らぐ森

爽やかな風を感じて、芝生ランドで寝ころび大空の雲と話す。
華やいだ紅葉のかえでの森へ
自分だけのシュプールを描きに雪の小路へ
季節の移ろいを感じながら～ hope60で走っている。



緑の木々にこぼれる太陽・柔らかい新芽の命が輝く
草の匂い、大地が萌えている、空気が生きている。
そして・・・ 私が一番よろこんでいる。
心地よい自分だけの世界で、何時までも hope60と走りたい！！

湖南岳友会 TN

湖国の豊かな自然を次の世代に！あなたもできる自然保護！

第46回
2018年

クリーンハイク

(清掃登山)

6月 3日 (日) 小雨決行
ただし、竜ヶ岳 は、

5月27日 (日) 小雨決行
飯道山 は、

6月 2日 (土) 小雨決行



実施会場 8 山域 11 コースを予定

- 1) 鈴鹿 2) 信楽 3) 伊吹 4) 金勝アルプス 5) 比良
6) 三上山 7) 竜王 8) マキノ

日程	会場	コース (担当会)
5/27 (日)	鈴鹿	竜ヶ岳 (山友会)
6/2 (土)	信楽	飯道山 (綾野山歩会)
6/3 (日)	伊吹	伊吹山 (山友会)
	金勝アルプス	天狗岩 (山友会)
	鈴鹿	高室山 (岳友会)
	比良	正面谷・隠れ滝 (ちごゆり)、 小女郎ヶ池・蓬莱山、クロトノハゲ・打見山 (雪稜会)
	三上山	三上山 (びわこテクテククラブ)
	竜王	雪野山 (彷徨倶楽部)
	マキノ	寒風山 (シャクナゲ)

申込先及びコース詳細は清掃登山ちらし (4月下旬に各会に配布予定) を参照してください。

2018年度 京都府連盟 無雪期搬出訓練のご案内

搬出はロープを使わない散策道でのネットの搬出と急斜面の山道でロープを使って背負いやネットの搬出を救助隊事務局で計画しています。

また、本年度から初めて滋賀県連にも参加を呼びかけています

※京都からの呼びかけです。多数の方に参加していただきたいと思います。

1. 実施日 2018年6月24日(日)雨天決行

2. スケジュール

8時30分 受付開始 天頑山(テンガンザン)取り付き(JR 高島駅から北西に900m)

9時00分 開始挨拶

9時15分 応急手当訓練

11時00分 昼食

11時30分 2コースに分かれ搬出訓練開始

15時00分 救助隊デモ(予定)

15時30分 反省会 16時00分 解散

3. 訓練場所と参加条件

応急手当 天頑山取り付き付近

搬出法

・天頑山班コース(ロープ不使用、ネット搬送)——参加条件なし

天頑山(テンガンザン)付近の散策道で登り降り搬送

・鉄塔班コース(ロープ使用。ネットと背負い搬送)——岩登り経験者のみ

見張り山への登山道で登り降り搬送

4. 持ち物

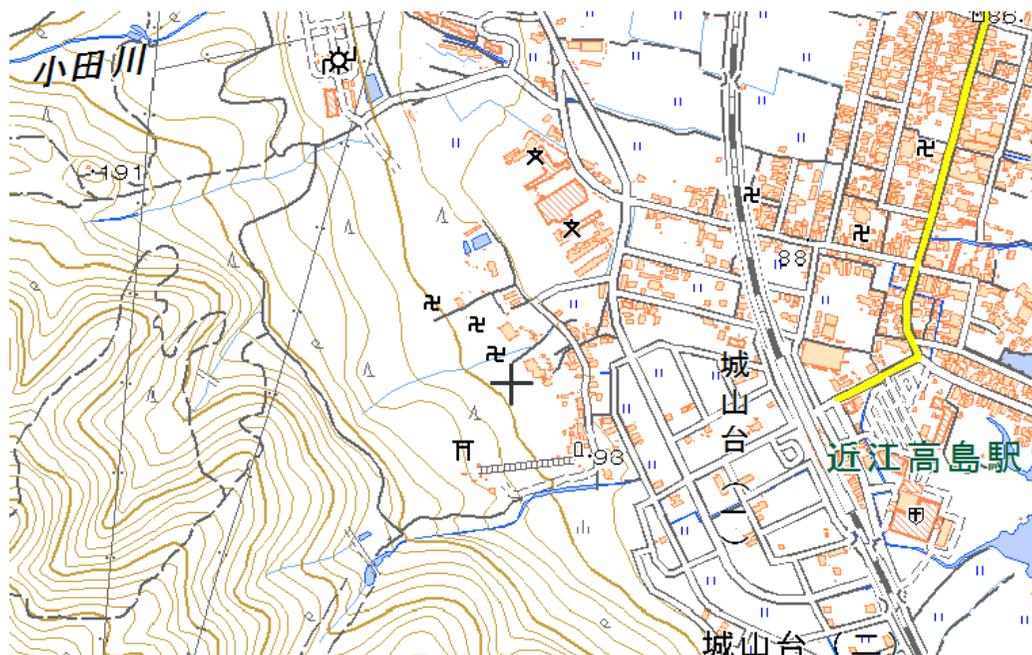
応急手当 一般日帰装備一式と筆記具

搬出法 天頑山班コース:一般日帰装備一式(ヘルメットは任意)

鉄塔班コース :一般日帰装備と登攀装備一式

- ・ 参加していただける方は 6 月 10 日までに友永まで連絡してください。
- ・ 電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

-
- ・ 受付場所手前に車は止められますが路上駐車となります。地元迷惑を掛けないように極力JRを使って下さい。



JR 京都駅—近江高島駅 7:00 発—7:50 着 又は 7:24 分発—8:20 分着
駅の北東にコンビニ、駅の西側に駐車場があります。

**※まだまだ参加者が少ないので、たくさんの方に参加していただきたい
と思います。**

教育部・遭対部共催

2018年度 第1期 地図読み教室

道迷いが遭難の原因の一つになっています。地図を読めるようになりましょう。
合わせて磁石も使えるようになってください。初心者が対象です。

場所 音羽山とその周辺

募集人員 5名(定員になり次第打ち切り)

締切り 6月30日(土)

テーマ 「地図に親しもう」

参加費 4回分2000円(ハイキングABCをお持ちなら1700円)

座学 7月7日(土) 13時から県連事務所

ハイキングABCを使って主に地図の見方と磁石の使い方について行ないます。

用意する物

筆記具(赤のボールペンは必ず)、30cmくらいの線引き(定規)、磁石

お持ちならハイキングABC ※地図はこちらで準備します。

内容

尾根と谷の見分け方、等高線について、磁北線の引き方、磁石の使い方、現在地の確認など1回目の実技のコースを参考に実施します。

実技日程

第1回実技 7月21日(土) びわ湖放送横～音羽山～平尾

現在地の確認の方法と磁石の基本的な使い方ほか

第2回実技 8月4日(土) 京阪大谷～音羽山～若葉台

参加者で現在地を確認する。磁石を使いながら進む。遠くの山の確認ほか

第3回実技 8月18日(土) 平尾～若葉台分岐～国分山～国分団地

前2回の復習と応用ほか

※実技の計画書は山行実施の3日前くらいに送ります。

申込・問合せ先 友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

教育部・遭対部共催

2018年度 第1回 初心者岩登り教室

剣や槍に登りたいけど少し自信がない人のための岩登り「初めの一步」です。

縦走などで出てくる岩場を自信を持って登れるようになりましょう。

実施日 6月16日(土)

場所 三上山・二越の岩場

募集人員 5名(定員になり次第打ち切り)

締切り 6月12日(火)

参加費 500円

用意する物

ヘルメット、通常の山行に持って行く装備、持っておられればカラビナとシュリンゲ

内容

基本的なロープワーク(8の字結び・クローブヒッチ・フィッシャーマン結びなど)

三点支持での登下降&トラバース

申込・問合せ先 友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

※機会を作って、何回か実施する予定です。

雪山基礎講座2(第5回)報告

南アルプス 仙丈ヶ岳

報告:森原 利光

1. 日程 2018年4月20日(金)~22日(日)
2. 参加者 講師 秋田 誠(彷徨倶楽部)
受講生 森原 利光、川端 久美子、飯野 加代子(以上、湖南岳友会)
3. コースタイム
4/20(金) JR 守山駅 20:00=名神・中央高速=伊那北駅 23:30(仮眠)
4/21(土)快晴 伊那北駅 6:00=戸台駐車場 6:45~7:10---丹溪山荘 11:15~11:25---大平山荘 14:35(テント泊)
4/22(日)快晴 大平山荘 4:10---5合目 7:10~7:20---小仙丈ヶ岳 8:50~9:00---仙丈ヶ岳 11:05~11:25---小仙丈ヶ岳 12:40~12:50---大平山荘 16:20~17:10---丹溪山荘 18:40---戸台駐車場 22:10=帰滋
4. 今回の講習テーマ
「アイゼン&ピッケルワーク」に加え、前回木曾駒ヶ岳山行の課題であった「バックステップでの下降」の実践。
5. コースの状況

本山行は 4/15-16 に計画されていたが、天候不良のため翌週に延期された。その影響で参加者は4名と少なめとなった。戸台駐車場は河原にあり、我がパーティーを含め車は3台のみ。靴底を濡らす程度の渡渉を5回ほど繰り返し、約4時間で丹溪山荘までの8kmを歩いた。地形図から急登を予想した八丁坂は、九十九折れの登山道がつけられており、思ったより登りやすかった。八丁坂を過ぎると一面苔生すなだらかな原生林の尾根となり、南アルプスらしい幻想的な風景の中を登った。標高 1,800mを越えると残雪が現れ、凍った登山道に 3 回ほどアイゼンの脱着を要した。



戸台川を渡る

無人の大平山荘前にテントを張る。今回は4テン1張り。軽量化のためペグは持参せず、周囲の石を利用してテントを固定した。今回、NASA で使用されている素材のシートを初めて使用した。このシートは嵩張らずザックへの収納が楽であるが薄手でクッション性はない。また、雪上ではなかったため断熱効果は分からなかった。水は山荘の引水を利用することができた。カレー鍋と締めうどん夕食を済ませ 19 時就寝。

4/22、2 時起床、不要な装備をテントに残して 4:10 出発。満天の星空。北沢峠登山口からアイゼンを装着。樹林帯の山腹を絡む夏道は残雪で閉ざされているため急峻な雪面の直登が多く、ナイフリッジの箇所もあり慎重に登った。標高 2,600m 辺りで森林限界を越え 360 度の素晴らしい展望が望めた。振り返ると甲斐駒ヶ岳、右には鳳凰三山、更には北岳、間ノ岳、北西には北アル

プスや中央アルプスが姿を現す。頭上正面に高く聳えるピークが仙丈ケ岳の山頂と思いきや、小仙丈ケ岳(標高 2,864m)で本峰はその陰に隠れて見えない。急登が続き締まった雪面にアイゼンがよく効いた。標高を増すにつれナイフリッジや岩稜帯が現れるも、谷川岳や木曾駒ケ岳で経験を積んだおかげで安全にクリアすることができた。



山頂近くの急斜面をトラバース



山頂を目前に



頂上に立ち満面の笑み



富士山と本邦第2の高峰北岳

仙丈小屋への夏道分岐を過ぎるとカール源頭のトラバースが始まった。仙丈ケ岳山頂近くでは岩場となっており慎重に通過した。最後の急登をこなすと、誰もいない山頂だった。無事登頂を喜び感動の握手を交わした。何も遮るものもない素晴らしい展望に恵まれて贅沢な時を過ごした。

帰りの長い行程に急かされ名残惜しくも下山にとりかかる。急な斜面はバックステップで下降。前向きに比較し、断然と安定感・安心感があり安全に下ることができる。また、斜面に対してやや半身の姿勢で下ると、安定感が増し安全に下ることができる。5合目から下の樹林帯は、急登とナイフリッジの往路を避け、夏道をひろって下った。大平山荘からは雪融けが進んだ登山道をアイゼン無しで下ることができた。



バックステップで下降

戸台川の河原に降りると、赤布を付ける樹木がないため目印が無い。河原の踏み跡だけでは

道の判読が難しくなってきた。何回か迷う度に道標のある場所に戻った。この時に助かったのがケルン。暗闇の中、踏み跡も判読できない時、ケルンが登山道を示してくれ安心して歩くことができた。2度ほど流れをジャブジャブ渡渉し、闇の中の河原歩き3時間で静まり返った駐車場に戻った。



急斜面は半身の姿勢で安全に



甲斐駒を望みながら下山

6. 一口感想

■ 2010年に県連初級アルパイン講習会で鋸岳に登った記憶を思い出しながら戸台河原を延々と歩く。何度か渡渉を繰り返し樹林帯に入り八丁坂の急登にきた。道中、ぐい飲みした沢水が喉の渴きを解消し一気に元気が出た。苔林に癒されながら、またアイゼンの脱着を繰り返すなどで大平山荘まで7時間もかかったとは思えないくらいだった。早速、丸太でテーブルとイスをセットし先ずは乾杯だ。水場も近くにあり快適なテン場での夕食メニューはカレー鍋。食重量600g/人。材料:肉団子(豚&鳥、にんにく、青じそ、蓮根入り)野菜(キャベツ、赤ピーマン、玉葱、しめじ、葱)乾麺3玉。食は進み、皆から「美味しい」と言ってもらえるとやはり嬉しい。

昨夜は2時間弱の仮眠だったため爆睡し、翌朝は2時起床4時に出発！風もなく抜けるような青空だ。仙丈の頂まで絶対に行きたいと思った。雪面のトラバースでは、山側の足は雪面に食い込ませ、谷側の足はガニ股にして歩く。斜度がきついと親指に力がかかり歩きづらかったが、トラバースを繰り返すうちに苦手意識は克服できたと思う。ピッケルはブレードを前に持ちいつでも滑落停止ポジションが取れるようシャフトをしっかりと握るようにする。

柔雪の急斜面ではキックステップを併用し、爪先を雪面に蹴りこみ安定した足場を確保して登った。ようやく小仙丈ヶ岳に到着し、ここから望む仙丈ヶ岳とカールの素晴らしい風景に感情が込み上げてくる。そして3,033m登頂、二等三角点にタッチできた。素晴らしい眺望は、今でも写真を見ると胸が詰まるほどだ。富士山と北岳と間ノ岳をまの当たりにしている。甲斐駒から鋸岳へ続く稜線の向こうに八ヶ岳、中央アルプスと御岳、白山、北アルプス連峰。どこまでも見える。わたし達だけの世界、こんな至福のひとつはめったにないだろう。

下山もまた素晴らしい。正面に甲斐駒が聳えている。足下に注意を払いキックステップで、かかとを強く踏み下ろし、つま先が水平より少し上を向く角度で下りていく。雪は緩み時折「グサツ」と膝上まで嵌り悪戦する。樹林帯半ばで日没となり、夜間での渡渉も初体験で苦手なんて言えない状況だ。夜は視野が狭くなり河原での踏跡は分かり難かった。秋田講師にケルンの意味を教わり、地形の説明を受けたが難しい。見覚えのある林道に入り駐車場はもうすぐだ。よく歩いた。感動と達成感と自信に繋がった山行だった。長時間歩くことは集中力と精神力が鍛えられると思う。実施して頂いた秋田講師に感謝したい。そして仲間にも・・・ありがとうございました。(川端)

■ 4月というのに初夏のような陽気の中、仙丈ヶ岳での雪山基礎講座2を受講してきました。今回は、アイゼンワーク&ピッケルワーク、急斜面の下降(バックステップ)を中心に学びました。急斜面を下るときは、足元を確認しながらバックステップで下ることで安定感を実感しました。また、急な斜面に対して半身になって下ることで、姿勢が安定し滑りにくくなり、前向きよりも時間はかかっても確実に下ることができました。気温の上昇で雪が緩み、踏み場所によっては膝上、股関節部までもズボッと嵌まってしまい足が抜けなくなり、自力で抜くことが困難で助けが必要になったことは初めての経験でした。2日間とも天候に恵まれ、気持ちよく受講できたことに感謝いたします。(飯野)

■ 今回の雪山講座も天候に恵まれ、雪山の素晴らしい眺望と色々なことを実践する場として貴重な経験をすることができた。

<良かった点>

- ・今回のテーマは、ピッケル&アイゼンワークに加え、バックステップの訓練として、随所に実践することができた。急登、トラバース、ナイフリッジ、急斜面の下り、岩稜帯などアイゼンを引っ掛けることなく使いこなせたのではないかと思う。
- ・長時間行動においても体力を維持するため行動食と飲料水を多く持参した。炭水化物のパン6個、チョコレート大粒10個、小アンパン5個、カットケーキ5個、SOYJOY2個、スポーツ飲料2L+1L(山荘で補給)。体調も良かった様で、とにかく腹が空き、休憩都度食べ、持参したものは完食した。これほど食べたことはなかった。心拍計の消費カロリーは4/22だけで9,114Kcalを示していた。伊吹山夏山が往復で2,800Kcalに対し、雪山だと消費カロリーが大きいことが分かる。
- ・夜間の河原では、樹木が無いためリボンの目印が無い。踏み跡を注意深く見ても判読し難い。講師から「道の横にはケルン:石を積み上げたものを目印にするように」と指示を受ける。確かにケルンが所々に有り、道であることを示してくれていた。真っ暗な中、ケルンがこれほど大切であることを初めて知った。今後は、迷い易い箇所にはケルンを積んでおきたい。

<今後の課題>

- ・登りの急斜面では直登は避け、ある程度トラバースしながら登った。この時、足を逆ハの字にすると登り易いが、足のハムストリングに負担がかかり攣りそうになった。この急斜面は1回当たり30分程度で、3箇所あったため疲労が蓄積した様だ。適度に足の向きを変えながら疲労が蓄積しない歩き方の改善が必要である。

最後に、3,000m級の雪山である仙丈ヶ岳山行を終え、雪山の素晴らしさは勿論のこと、急斜面の登り方・下り方、アイゼンやピッケルの使い方の実践を通じて貴重な経験ができた。夜間での河原をルートファインディングしながらの長時間歩行は、疲れと少々不安を抱えながら、メンバー全員で協力してクリアでき、達成感と満足感に満ち溢れ、自信にも繋がったのではないかと思う。経験の浅い私たちを指導・リード頂きました講師に感謝するとともに、メンバーにも感謝します。ありがとうございました。(森原)

■ 雪山登山は刻々と変化する自然の中に身を晒す活動なので、今回のように自分の限界を広げる山行を経験することはとても重要だと考えています。4月に戸台から北沢峠を経て仙丈ヶ岳を往復するには3日の行動日が標準で、下山日の行動時間がとても長くなると予想していましたが、山慣れた健脚メンバーだったので勝算は100%ありました。皆さん夜の河原歩きを文句も言わず頑張ってくれました。これからも楽しい山の合間に時には頑張る山も実践して、出来るだけ多くの引き出しを身につけて頂きたいと思います。(秋田)

ぐうたら理事長のつぶやき

先日テレビを見ていたら、大文字山の遭難が多いので地元の警察署に救助隊を作ったとの報道がありました。どこで迷うのだろうと思いますが、道がたくさんあると言う事は逆に迷う機会も多いと言う事でしょうか。迷わないために何時でも現在地を確認すると言うのは大切な事だと改めて思っています。

少しネタ切れ模様なので少し長くなりますが、遥か昔に阿蘇の外輪山を歩いた時の記録でお茶を濁します。



阿蘇南外輪山(七曲峠～清水峠) 1973年12月31日～1974年1月2日

12/31

1973年最後の日に阿蘇南外輪山縦走に出発します。少し寒い。博多～熊本間の列車は超満員で山に入る前にばててしまった。長陽で下車、駅前の食堂で昼食をとる。西から南にかけて外輪山が見える筈だが雲に包まれている。心配していた通り、出発してすぐ雪が落ちて来る。車道を妙見橋を渡って歩き、八里木のバス停前でパンを買う。道が三つに分かれていて、どれか判らないので一番良い道を選ぶ。岸野入り口で右の道に入る。小雪のちらつく中、緩やかな登りを続けると、前方にポツンと老木が2、3本あり、荒神さまが祀ってあった。上を仰ぐと七曲峠が見える。左へ新道が走っているが右の旧道をとる。荒れた旧道を歩き続け、山腹から峠に突き上げる。峠に出たとたん強風と雪に迎えられる。目も開ける事が出来ず、濡れた軍手がガチガチに凍って、手が刺すように冷たい。視界の無いなか俵山へ向う。南へ急斜面を登る。頬を打つ風は冷たく、私の心も物悲しい。ボンヤリと霞む稜線を目指して登り続ける。雪と風はますます激しくなる。尾根の吹き溜まりはかなり深く歩き難い。雪に包まれた大晦日のこの日、白い雪を見つめながらの山歩き。少し緩やかになり、木の階段が造られた急斜面を登り詰めると、960mPで西に向きを変える。1000m付近まで緩やかだが、再び木の階段の急登となる。ここは雪が深い。登り切ると護王峠との分岐で西に尾根を伝う。横殴りの風は、私を押し倒そうと吹き、深い雪の吹き溜まりが私の足を引っ張る。ようやくの思いで辿り着いた俵山の山頂は、雪と風の舞う厳しい自然の世界。そんな中にただ一人立っていると、風と雪の中に融け込んでしまいそうです。山頂の標識も白い氷の花を咲かせています。この山頂でビバークの予定でしたが、この風雪では明日太陽も拝めそうにないので、護王峠まで下ってビバークする事にして、分岐に戻り南へ階段を下る。滑り易い斜面を下って護王峠に着き、強い風と小雪の中ビバークの準備をする。阿蘇の好展望台も今は雲に包まれて淋しい峠になっている。

大晦日だと言うのに風と雪の中、ただ一人一枚の布の中を自分の世界にして、薄暗いローソクの灯りを頼りに遅い夕食をすませ、ぼんやりと1973年最後の夜を送っています。

1/1

厚い雲に蔽われた新年を、ただ一人雪の峠で迎える気持ちは何故か淋しい。ツェルト内で水を2度もこぼし、水浸しになった惨めな新年。あれこれするうちに予定より1時間半遅れで出発。清水峠までの予定だが、時間的に無理なので、地蔵峠でどうするか決める事にする。緩やかに尾根を南に辿り急斜面を登ると1000mP。ここで東に向きを変え、1040mPで再び南に向う。1090mP、1060mP、1080mPを越えると本谷越。東へ急斜面を登り詰めると冠ヶ岳分岐。南へピークを2つ越え、3つ目のピークが1154mの冠ヶ岳山頂。

昨日、風と雪に追われた俵山が白い雪化粧をして、折から覗いた薄日に輝いて美しい。眼下に広がる樹氷を眺めながらメモをとる。分岐に戻り一面の雪に足跡を印しながら東へ緩やかな尾根を辿る。所々にある吹き溜まりに思わず足を取られたり、滑ったりしながら30分ほど行くと、道は南東に向きを変えて緩やかに続く。昨日と変わらず阿蘇も他の山々も雲の中、僅かに南郷谷の村々の家並みが見えるだけだ。相変わらず風も強い。1097mPより南へ下ると地蔵峠、時計は12時を指している。清水峠まで5～6時間かかるので無理、あてにしていた水場も雪の下に隠れている。展望も無く、風も強いので熊大VW部の「いこいの家」まで下る事にした。道は北面のため深い雪となっている。ラッセルする事20分でやっと「いこいの家」に着いた。窓からは南郷谷の村々が見え、頭上には地蔵峠が望める素晴らしい場所にあります。1974年の元旦に、ただ一人山小屋でひと時を過ごすのも楽しい。ラーメンに餅を入れ、ささやかな正月気分を味わい、のんびりと日を送る。5時過ぎに北向山から縦走して来たと言う、早飛脚みたいな地元の登山者が小屋に来た。黒光りするピッケルが印象的だが、この山にはピッケルは必要ないのと思う。さらに30分ほどすると、女性5人のパーティが現れ、淋しかった小屋も一度に賑やかになった。賑やかに食事が始まった。今までのコースの事、明日のコースの事、友達の事と話題は止まるところを知らない。私は、その横で昨日濡れたシュラフに潜り込む、何と侘し事か。

夜も更けると、窓を通して星が瞬く。明日は晴天のようだ。

1/2

5時に起床し、軽い食事をすませて6時45分に出発した。昨日解けた雪が少しくラストし2度ほど滑る。地蔵峠に出る。昨日と違い風も弱い。今日は最高の展望が得られた。北東に雪を戴いた阿蘇の山々が朝の光に輝いている。こんなにも素晴らしい朝を自分のものに出来る。それも山を歩く者の宝なのかも知れない。昨日までの悪天に耐えた私に与えられた贈り物でしょう。美しく均整のとれた祖母の姿が印象的です。来年はあの山で年を越そうか何て思います。峠より南東に防火線を辿る。誰も歩いていない雪の尾根を辿るのは、何となく心が浮き浮きします。急斜面を直登する。目に入る阿蘇の姿が大きくそして美しい。大矢岳の山頂からは、俵山、冠ヶ岳が望まれる。僅か一日でこんなにも遠くに来れるとは、自分の足もなかなかだなと一人で感心する。眼下には白い花を咲かせた樹氷の海が広がる。大矢岳から大矢野岳、駒返しまでは、深い雪と白い樹氷のトンネルを辿り、冬山、雪山の気分を十分に味わう。清水峠までは東へ尾根を辿る。駒返峠～清水峠間で雪が疎らになる。相変わらず阿蘇の眺めが素晴らしい。大矢野岳～清水峠までは、なかなかの難路できつかった。清水峠で正面に望まれる阿蘇五岳を心行くまで眺める。根子岳の天狗岩が高く聳えているのが心に残る。下山する峠道からも常に正面に眺められた。阿蘇南郷谷は、阿蘇五岳の山懐に抱かれ、四季折々の山の姿に接する事が出来る。果たしてそれが無上の幸せかどうかは一人一人の心の中のもの、私にとっては…。

冬の強い風と雪、寒く長い夜のビバーク、雪を戴く素晴らしい阿蘇の朝、新雪のラッセルと、心行くまで冬の山を堪能しました。もっとも最初の悪天には弱気になりましたが。

読み返して、護王峠のビバークを臆気げに思い出しました。

残念ですが、6月、7月は日程がとれませんので私の山行は無しとします。

8月はなんとか計画をしたいと思います。

なくそう!核兵器

60
1958-2018

国民平和 大行進 2018

核兵器のない世界、非核の日本を!

1歩でも
2歩でも
こいっしょに



最新情報はWebで
 平和行進 検索 www.antiatom.org
 フェイスブック 平和行進
[facebook.com/heiwakoshin](https://www.facebook.com/heiwakoshin)

主催●原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会 提唱●原水爆禁止世界大会実行委員会
 〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4平和と労働センター6F TEL03-5842-6031 FAX03-5842-6033

2018年 原水爆禁止国民平和行進 滋賀県コース 6/16(土)~2018.5.15現在

6月	出発地点(時刻)	通過経路・時刻	途中集会・終着地点等
16日(土)	関ヶ原公民館 14時集合 岐阜県から引継集会 14:30~15:00	● 集会后、車で移動→16:00山東支所(集会后市内行進)→車で長浜市役所着 ○【長浜市内コース】17:30市役所前集会、のち市役所前東通り北進→八幡神社左折→8号線横断→宮町通り西進→滋賀銀行御堂前支店→大手通り西進→黒壁左折→駅前通り東進→高田交差点→長浜市役所 18:30	米原市山東支所集会 長浜市役所出発集会 終了後 激励交流会
	【甲賀コース】 甲賀市役所 9時集合	○甲賀市役所9:15出発→岩谷医院まで行進(9:45バスに乗車)湖南市針・草津線踏切南から(10:10)→行進→ 湖南市東庁舎(甲西)(10:30~10:50)→国道1号線・奥村開発横まで行進(11:10)西帽子袋から行進(11:20) 湖南市役所西庁舎(石部)11:50到着集会 (バスで湖南東庁舎→甲賀市役所)	甲賀市役所集会 湖南市役所集会
17日(日)	彦根市役所 9時集合	○彦根市役所→旭町西→京町→銀座→河原町→中芹町→大橋町→本町町→沼波町→近江鉄道彦根口駅●電車で移動→ 近江鉄道豊郷駅→豊郷町八目「楠稔」→豊郷病院→豊郷町役場11:00→中山道南進→下枝→歌話橋→愛荘町石橋→ 沓掛→滋賀銀行→愛荘町役場12:00→休憩→13:00発→東近江愛知川交番→近江鉄道愛知川駅●電車で移動→ 八日市駅下車→浜野町→金屋町→緑町→法務局→東近江市役所 15:00	彦根市役所出張集会 豊郷町役場集会 愛荘町役場集会 東近江市役所
	【甲良コース】	○甲良町役場集合9:30 出発10:030→近江鉄道尼子駅→豊郷町役場→彦根コースに合流	※甲良町役場は平日に訪問
18日(月)	安土駅前 9時集合	○安土駅前9:00出発→常楽寺→西庄町→金田跨線橋北→兄弟社学園前→玉木町→アルプラザ前→ 近江八幡市役所11:30~ 昼食休憩 ~12:45発→13:15近江八幡駅→14:00近江八幡市民共生センター休憩→15:00篠原駅 篠原駅●電車で移動15:27→野洲駅15:40~16:00) 駅前署名行動	近江八幡市役所集会 野洲駅
	【高島コース】	○今津駅前10:00→高島市役所 12:30集会、(13:00過ぎ昼食懇談会、かばた館	高島市役所集会
	【志賀コース】	○蓬萊駅10:00→蓬萊駅周辺→小泉宅 12:00	
19日(火)	野洲市役所 9時集合	○野洲市役所→野洲病院前→野洲川橋→守山市役所(10:10~10:30)→JA守山前交差点左折→赤町交差点直進→ GS角左折→間庵堂交差点右折→大正神社休憩→花園交差点左折→国道1号線横断→JA栗東前交差点右折→ 栗東市役所12:30着~昼食~13:30出発→栗東中学校右折→聾話学校前→ 川辺→岡→新屋敷→草津川横国道横断→ 夕ノ111交差点→草津商店街南進→立木神社前左折→16:00草津市役所→ 16:30JR草津駅前で宣伝行動	守山市役所集会 栗東市役所集会 草津市役所 終了後 激励交流会
	草津市役所 9時集合	○草津市役所→狼川町会館→瀬田支所→神領→青年会館12:00~昼食~ 13:00発→石山商店街→日電前→瓦ヶ浜→ 中ノ庄→かざぐるま会館→旧東海道→県庁15:30→丸屋町→北国町→大門通 り→三井寺→大津市役所 17:00	大津市役所
20日(水)	【日野コース】	○日野町役場8:40出発→竜王町役場10:15到着 ※日時未定(昨年は19日)	
21日(木)	滋賀県庁 9時30分集合	○滋賀県庁出発→大津駅前→国道161号線左折→11:15藤尾市民運動公園休憩→旧道を西進→国道1号線→ 三条通り四宮交番前→三条通り西進→ラクト山科公園 12:00	ラクト山科公園 12:30 引継集会

滋賀県コース事務局 滋賀県労連 077-521-2536 山元大造 事務局長

◎東京-広島コース通し行進者:南友佳子さん(京都)

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
6	2	第46回清掃登山(2)	6	3	清掃登山、伊吹山	山友
	3	第46回清掃登山(3)		3	清掃登山、金勝アルプス	山友
	8	富士山ガイドランス		3	清掃登山(高室山)	岳友
				3	清掃登山(南比良2コース)	雪稜
				3	清掃登山(雪野山)	彷徨
				3	清掃登山(イン谷～隠れ滝)	ちご
	14	第4回理事会		8-12	韓国の山(太白山 道峰山 水落山)	彷徨
				9-10	ダイヤモンドトレール	岳友
	16	県連 第1回 初心者岩登り教室		10	初級登山教室、音羽山	山友
				16	マキノ・大谷山	山友
				16	金毘羅山	雪稜
		16-17	綾部(上林) 蛸鑑賞 & 山	ちご		
		17	大普賢岳(大峰山脈)	岳友		
		17	敦賀・岩籠山	山友		
23	しし岩 岩トレ(CSS)	17	射能山(ブンゲン)	雪稜		
23-24	全国女性担当者会議	21	ミーティング	彷徨		
24	京都府連盟 無雪期搬出訓練	24	錫杖岳(三重県)	雪稜		
30-7/1	全国遭難対策担当者会議	24	糶糟山	岳友		
		30	ミーティング	岳友		
7			7	1	初級登山教室(音羽山)	山友
				1	武奈ヶ岳ハツ淵滝ルート	岳友
	7	県連 第1期 地図読み教室 座学		7	納涼会	山友
				7~8	夏山合宿・美ヶ原	ちご
				8	七尾山～横山	雪稜
	12	第5回理事会				
	14-15	八ヶ岳阿弥陀南稜(CSS)		14-16	白山	岳友
				17-16	鷲羽岳・水晶岳	岳友
	21	県連 第1期 地図読み教室 実技①		19	ミーティング	彷徨
				20-22	劔岳	雪稜
				22	田上 笹間ヶ岳	ちご
		28	夏山集中山行、立山・雷鳥沢	山友		
		27-31	白峰三山	雪稜		
		28	ミーティング	岳友		
		29	白髭岳(台高山脈)	岳友		
8	1	「山の日」全国大会	8			
	4	県連 第1期 地図読み教室 実技②		5	高島トレイル	岳友
	9	第6回理事会		5	太神山・矢筈ヶ岳	雪稜
				11	京都北山 直谷～出会橋	ちご
				11-13	赤木沢	岳友
				11-14	雲の平	岳友
	18	県連 第1期 地図読み教室 実技③				
				23	ミーティング	彷徨
				25	ミーティング	岳友
				25-26	初級登山教室(場所未定)	山友
				25-26	信越トレイル	彷徨
		26	墓谷山～呉枯ノ峰	雪稜		
		26	清滝～高尾 (ソーメン山行)	ちご		

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



原稿の投稿先（7月号は2018年6月15日〆切）
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで
原稿はB5サイズ、フォント10.5~12で、使用する写真は
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース6月号 №491

発行日：2018年5月21日

滋賀県勤労者山岳連盟

Tel: 080-4971-6231

〒520-0836

Eメール shigarosan@gmail.com

大津市杉浦町9-30

<http://shigarosan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行（店名418）

普通0239956

発行責任者：友永芳和

編集委員：奥野 豊

高玉 敬子 東郷 京子